様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　６月２５日

豊　田　市　長　殿

提出者
住　所　愛知県豊田市陣中町２丁目８番地１５
氏　名　沖土木建設株式会社
代表取締役　沖　剛史
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0565-32-1519

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	沖土木建設株式会社
事業場の所在地	愛知県豊田市陣中町２丁目８番地１５
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	０６：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：７１５００万円
③従業員数	１３人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別後、再生処理業者に委託して選別、再資源化又は埋立 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→中間処理業者に委託して選別後、最終処分業者が埋立 汚　泥→中間処理業者に委託し脱水後、埋立処分

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

会社
↓
代表取締役（廃棄物処理総括責任者）
↓
土木部（産業廃棄物管理担当　取締役）
↓
工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）→下請会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合	廃ﾌﾟﾗ	汚泥
排出量	2819t	122t	900t	3t	13t

（これまでに実施した取組）
・分別の実施

② 計画

【目標】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合	廃ﾌﾟﾗ	汚泥
排出量	2700t	100t	850 t	2t	12t

（今後実施する予定の取組）
・梱包材の簡素化
・工法の改善を検討

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・各工事現場にて、がれき類、木くず、混合廃棄物、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類は分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合	廃ﾌﾟﾗ	汚泥
全処理委託量	2819t	122t	900t	3t	13t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	885t	—	13t
再生利用業者への処理委託量	2819t	122t	15t	3t	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

①　現状

（これまでに実施した取組）
・特になし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合	廃プラ	汚泥
全処理委託量	2700t	100t	850 t	2t	12t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	800t	—	12t
再生利用業者への処理委託量	2700t	100t	50t	2t	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

（今後実施する予定の取組）
・できる限り再生利用業者への処理委託を行う。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。